

1. 労働災害の再発防止の為に

①

令和元年の発生労働災害はヒューマンエラーによるところが大きいと考えます。ヒューマンエラーを防ぐ対策としては、ヒューマンエラーが発生しても大丈夫な安全設備面の対策が必要です。

「人は誰でも間違える」ことを前提として可能な限り適切な安全設備を設置することは重要かつ有効な対策です。

ヒューマンエラーの12分類のうち、不注意、近道本能行動、場面行動本能、パニック、錯覚、単調作業による意識低下の6つは「瞬間的に注意力が適切に働かない」状態ですから、「最終的な安全確保を人の注意力に頼らない」ような安全設備を整えることが必要です。

例えば、墜落制止用器具、墜落防止ネット、墜落防止手摺、各種保護具の着用、差し筋の養生キャップ、各種リミット装置(安全弁、ガス警報器、漏電遮断器、重機の接触防止、クレーンの過負荷防止装置)などの設備があります。

②

ヒューマンエラーを発生させないような現場の安全管理活動としては、適切な安全設備の設置に限界がある、作業のマニュアル化に限界がある、のが建設現場の特徴です。このため、「作業員一人一人がヒューマンエラーを起こさない」ために安全完治活動を充実させることが重要な対策となります。

ヒューマンエラーの12分類のうち、未経験、危険軽視、連絡不足、集団欠陥、中高年の機能低下、疲労等は、「あらかじめエラーが発生しやすい状況が作業員に内在している」と言えます。このような危険な状況を作らない、若しくは早期に発見し改善できる安全管理活動が必要です。

2. コロナ禍での熱中症対策について

新型コロナウイルス感染症に十分留意し、「三密」を避け、作業開始前の作業員の発熱等健康状態のチェック及び、手洗いうがいの励行、咳エチケットの徹底を実施して、感染拡大を防止しながら毎日の作業を進めていきたいと考えております。

そんな中で、今年も熱中症の季節となりました。令和元年度は建設業でも10人の熱中症による死亡者が出ております。

これからが一番注意しなければならない時期となります、特に下記に注意して熱中症の発生抑制に留意願います。

- ① 前日は深酒をしない
- ② 朝食を抜かない
- ③ しっかり睡眠をとる
- ④ こまめに水分、塩分をとる。

等、

コロナ禍の中で非常に大変だとは思いますが、新型コロナウイルス及び熱中症の予防をお願いいたします。

3. 最後に

亀岡工務店では新規入場時の教育調査アンケートの記入、毎日の作業開始前のリスクアセスメント手法による危険予知活動の実施を必ずやらせてもらう事としています。

小さな現場でも、大きな現場でも、カメカメホームでも亀岡工務店でも、工期の長い仕事でも、半日作業でも、新規入場児教育、KY活動、保護具の装着を必ず行ってから、作業の開始をしていただくようお願いいたします。

株式会社亀岡工務店